

FinePix F900EXR

Notes

Makoto Ichikawa



FinePix 900EXR とうまくつきあうコツ

■ 撮影モードなどの設定

画像サイズ：**S4:3 (2304×1728)** ; 気持ちのよい画質から
ISO 感度：**AUTO(400)** ; AUTO(800)、AUTO(1600)も使用
画質モード：N (初期設定のまま)
ダイナミックレンジ：AUTO (初期設定のまま)
撮影モード：**P** ; 被写体により EXR DR 他も使い分け
撮影画像表示：**拡大** ; 撮影した画像の素早いチェックのため
AF 補助光：OFF ; 節電のため (マナーモードも積極的に併用)

■ ズームレンズの積極利用

高画素数で撮影後、必要な範囲をトリミングという方法がありますが、本機では高倍率のズームレンズで必要な部分を切り取る手法がお勧めです。

■ セルフタイマー2秒の積極利用

望遠域 (静物) やマクロ撮影で手ブレが懸念される場合、**積極的にセルフタイマー2秒**を使用します。

■ 露出補正、カスタムホワイトバランスは積極的に利用

露出補正は積極的に使用します (少しアンダー目に撮ると良い結果となることが多い)。光源によりカスタムホワイトバランスを利用します。

■ 近接撮影能力は仕様以上

最短撮影可能範囲 (レンズの先端から) は約 2cm です。

■ スーパーiフラッシュの使いこなし

フラッシュ光の届く範囲は感度 AUTO で広角：約 15cm~**3.7m**、望遠：約 90cm~**2.4m** と短いことに留意する必要があります。

目次

はじめに	• • •	3
1. FinePix F300EXR	• • •	4
(1) 導入の経緯		4
(2) FinePix F300EXR と FinePix F900EXR		5
2. FinePix F900EXR の設定	• • •	13
(1) 画質モード		13
(2) ズームレンズと絞り		15
(3) シャッター速度		16
(4) 測光方式		17
(5) フィルムシミュレーション		17
(6) 露出補正		18
(7) 連写		19
3. メモリーカード、アクセサリ	• • •	20
(1) SD メモリーカード		20
(2) 液晶保護フィルム		20
(3) カメラケース		21
(4) 三脚・一脚		22
(5) ホワイトバランスのカスタム設定用板		23
4. まとめ	• • •	24

■ Maniac シリーズ

はじめに

FinePix F300EXR はステップアップリングを加工した部品を取り付けてフィルターねじ対応にする著者のシステムカメラ化の遊びにも応えてくれましたが、FinePix F900EXR のボディ形状はステップアップリングを接着するのに不向きで、「改造」は諦めました。そして入手したカメラについて Maniac シリーズを発行してきましたが、「F900EXR については書くネタがない」でパスし、同じ撮像素子を採用の FinePix HS50EXR を後に入手し、”FinePix HS50EXR Maniac”を発行しました。

スマートフォンからのリモート撮影を可能とするデザイン的に F900EXR と共通な後継機 FinePix F1000EXR が 2014 年 1 月 23 日に、「2月8日発売」として発表されました。しかし、8月、[F1000EXR の Web サイト](#)を見ると「FinePix F1000EXR（ゴールド、ホワイト）は、生産終了いたしました」という文字を目にすることになりました。

F900EXR は 2013 年 3 月 9 日発売で同年 10 月に出荷終了だったことを考えると、「F1000EXR も近々、出荷終了を迎えるのかな。外観的に同形の F1000EXR の出荷終了の表示が出る前に・・・」と、blog 『ロボット人間の散歩道』で書いた F900EXR に関する記事をベースに若干の追加をして”FinePix F900EXR Notes”を発行することにしました。中身は薄いですが、ご容赦の程を・・・。

著者

1. FinePix F900EXR

(1) 導入の経緯



FinePix F300EXR と FinePix F900EXR

FinePix F300EXR (1,200 万画素 1/2 型 CCD) をメモ用カメラとして入手したのが、2011 年 5 月。記録画素数 300 万画素 (但し、ISO 400 以下) ならば PC ディスプレイで等倍で見て気持ちのよい画像が得られ、35mm 判換算 24~360mm のズームレンズが著者の用途にマッチし、位相差画素による位相差 AF への対応も気に入り、最初の F300EXR が撮影枚数が約 10,000 枚を超えたあたりでズームレバーの操作に対するズームレンズの動きが渋くなり、F300EXR の後継機の F550EXR は位相差 AF に対応せず、F300EXR の新品が安価に入手可能だったことから 2 台目の F300EXR を 2012 年 5 月に入手し、

使用していましたが、再び、ズーム操作の不具合が生じました。そこで位相差画素を特徴とする FinePix F900EXR が発売で、「35mm 判換算 24mm からが・・・」には目をつぶって F900EXR を入手しました。

(2) FinePix F300EXR と FinePix F900EXR

a. ズームレンズと撮像素子

FinePix F900EXR の特徴は「広角 25mm からのフジノン光学式 20 倍ズームレンズと、新開発の 1600 万画素「EXR CMOS II」センサー、画像処理エンジン「EXR プロセッサーII」を搭載し、世界最速 0.05 秒の高速 AF を実現」とされます。

FinePix F300EXR は「新開発ツインシフトレンズにより、光学 15 倍ズームを実現しながら、最薄部 22.9mm の薄型化を実現」とされる 10 群 12 枚（非球面 3 枚）の焦点距離 4.4-66mm（35mm 判換算 24-360mm）、F3.5-F5.3 のレンズが搭載されました。F900EXR もこのレンズ構造を踏襲するものと考えられ、11 群 14 枚（非球面 6 面 3 枚、ED レンズ 2 枚）の焦点距離 4.6-92mm（35mm 判換算 25-500mm）、F3.5-F5.3 のズームレンズが搭載されました。

手ブレ補正は F300EXR、F900EXR、共に光学式（撮像シフト方式）で基本的に同じですが、気のせいかもしれませんが、使用していて F900EXR がより強力になった気がします。

F900EXR で撮像素子に位相差 AF センサーが復活したのは嬉しいですが、「有効画素数は 1,200 万画素のままだったら・・・」です。

b. デザイン

FinePix F300EXR と FinePix F900EXR、同じデザインの流れにあるものです。シャッターボタンは F300EXR が水平なのに対して、F900EXR は少し前に移動して斜めに配置され、より人間工学に配慮されたデザインとなりました。

寸法は F300EXR の（幅）103.5mm×（高さ）59.2mm×（奥行き）32.6mm に対して、（幅）105.1×（高さ）61.0mm×（奥行き）36.0 mm で 15 倍ズーム（望遠端：35mm 判換算 360mm）から 20 倍ズーム（望遠端：同 500mm）で望遠側が強力になったことから少し厚くなりました。また、質量（付属バッテリー、メモリーカード含む）は F300EXR の約 215g に対して約 232g で若干増です。

c. 操作性

FinePix F300EXR から FinePix F900EXR への更新、ほとんど同じ操作系のため、迷うことなく、使い始めることができました。まず、気付いたのが F300EXR に比べて F900EXR のズームレンズの動作音が低くなったことです。メモ用カメラとしてマナーモード「ON」を常用としていますが、ズームレンズの動作音が静かになったことはとても嬉しい進化です。色々な操作をしていて F300EXR に比べて F900EXR の剛性が高まったように感じますが、ズームレンズの動作音の低下もこれに関係しているように思われます。

F300EXR、F900EXR の液晶モニターは「プレミアムクリア液晶」とされますが、前者の約 46 万ドット（縦横のドット数は未公開。4：3 の比率から 784×588 ドットと推定）から約 92 万画素（同 1108×832 ドットと推定）に解像度が向上しています。F300EXR 単体で使用時は気になりませんが、F900EXR を使い始めると表示性能の向上を感じます。

望遠撮影や暗い場所でシャッター速度をあげられない時、タイマー2秒を積極的に使い、手ブレ補正機能の効果もあって手ブレが目立たない写真を撮ってきましたが、F300EXR は撮影の都度、タイマー2秒を設定しなければならず使い勝手がよくありませんでした。F900EXR は HS30EXR と同様、一旦、タイマー2秒に設定すればその後の撮影で再設定の必要がなく、使い勝手がよくなりました。

富士フィルムのサイトを確認したところ、ファームウェアのバージョン 1.02 がでていました。私の FinePix F900EXR を確認するとバージョン 1.01 で早速、バージョンアップしました。

表紙の写真は F300EXR で使用していたコイルストラップ、F900EXR 用にちょうどよいサイズのピクスギアセミハードカメラポーチ (HAKUBA)、そして F300EXR 用に使用していた hama デジカメポーチ サムハードケース 60H のネックストラップを F900EXR に組み合わせた、私の F900EXR の常時携行の姿です。

d. 画質

F900EXR の有効画素数 1,600 万画素とされますが、メモカメラの用途で F300EXR や FinePix HS30EXR と同じ考え方で、液晶ディスプレイで等倍で見ても気持ちのよい記録画素数の [S] <4 : 3>2304×1728、ISO 感度は AUTO 400、画質は NORMAL に設定しました。

撮影していて被写体によって画像周辺が甘くなることに気付かされることがあります。主用途がレポートや blog 用で、伝えたいものを中央に配置する構図のため、画像周辺の画質の低下は「このカメラサイズに 20 倍ズームレンズを納めるため、内部で強力な歪曲収差補正をかけているだろうから、止むを得ないところかな。それより、強力な望遠で離れた位置にある被写体を写し撮ることのできるメリットを考えれば・・・」と割り切ることにしました (同じ撮像素子の FinePix HS50EXR の大きなレンズは「無駄に大きい訳でない」を実感です)。

e. 撮影枚数

標準撮影枚数は仕様上、F300EXR の約 250 枚に対して、約 260 枚でほぼ同等です。撮影条件によって撮影枚数は異なりますが、記録画素数 S4:3、マナーモード「ON」で約 300 枚を目安にしています。

■ 作例

【月撮影】

月が見えたため、FinePix F900EXR の設定を画像サイズ L <4:3>、フィルムシミュレーション B&W、スポット測光に設定し、タイマー2秒で撮影してみました。手持ちでもベランダの手摺や外灯に体を預ければ手持ちでも手振れ補正機能の効果でクレータがよくわかる月が撮影でき、F900EXR の得意種目といえます。



リサイズのみ



512x512 画素でトリミング

【東京スカイツリー】



源森橋から東京スカイツリー



言問橋から月と東京スカイツリー

- 焦点距離は 35mm 判換算 45mm、シャッター速度は 1/10 でタイマー2 秒を使っていますが、手ブレ補正機能もあって手ブレの感じられない写真が撮れました。

【リンク】

世界最速 0.05 秒の超高速 AF であらゆるシャッターチャンスを逃さない！ 光学式 20 倍ズームレンズ搭載、超解像技術で 40 倍までくっきり美しく撮影可能 新開発 EXR CMOS II センサー搭載 デジタルカメラ 「FinePix F900EXR」

http://www.fujifilm.co.jp/corporate/news/articleffnr_0741.html

F900 - FinePix F900EXR 富士フィルム（生産終了品）

http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/f/finepix_f900exr/

FinePix F900EXR のファームウェアの更新：概要 富士フィルム

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/finepix/f900exrfirmware/download001.html>

80 年にわたり蓄積した色再現技術と高精細フジノンレンズが生み出す高画質

暗所や逆光でもオートで見たままに再現する独自開発の EXR センサー搭載

光学式 20 倍ズーム デジタルカメラ 「FinePix F1000EXR」

世界最速 0.05 秒の超高速 AF！優れた高速性能で機動的に撮影できる 新発売

http://www.fujifilm.co.jp/corporate/news/articleffnr_0840.html

2. FinePix F900EXR の設定

FinePix F900EXR の使用説明書の 95 ページの「画像サイズ」の文中に「画像サイズが大きいほど画質が良くなり、小さいほど多くの枚数を記録できます。」と記載されます。文章を素直に読み、画質を優先させたい人は、間違いなく L の設定を行うと思いますが、PC のディスプレイで等倍の撮影画像を見るとがっかりさせられます。上記の記述、プリント出力を想定した表現と理解した方がよさそうです。


「PC の液晶ディスプレイ上で撮影画像を等倍で見ても気持ちが良い」を条件に撮影サイズ S4:3 (2304×1728)、ISO 感度は常用 AUTO (400)、手ブレが懸念される場合は AUTO (800)、記録優先は AUTO(1600)と使い分けています。なお、タイマー2 秒を積極的に使用することで手ブレ補正機能の効果から AUTO(400)でも手振れの感じられない写真が多く撮影できています。

画像サイズ：S4:3 (2304×1728) ; 画質面から
画質モード：N (初期設定のまま)
ISO 感度：AUTO(400) ; 場合により AUTO(800)、AUTO(1600)
ダイナミックレンジ：AUTO (初期設定のまま)
撮影モード：P ; 場合により EXR DR
撮影画像表示：拡大 ; 撮影した画像の素早いチェックのため
AF 補助光：OFF ; 節電のため (マナーモードも積極的に併用)

(1) 撮影モード

表 1 に FinePix F900EXR の撮影モードをまとめます。FinePix F300EXR にあった SP の高感度 2 枚撮り、ナチュラルフォト、ペット検出 (いぬ)、ペット検出 (ねこ) はなくなる一方、Adv でアドバンスフィルター、多重露出の撮影モードが追加されています。

表1 FinePix F900EXR の撮影モード

撮影モード			
P	P (シャッター速度と絞り値を自動設定)		
A	設定した絞り値にあわせ、シャッター速度が自動設定		
S	設定したシャッター速度にあわせ、絞り値が自動設定 AUTO(400) / AUTO(800) / AUTO(1600) / AUTO(3200)		
M	シャッター速度と絞り値を撮影者が設定		
 AUTO	カメラまかせで撮影		
EXR	EXR AUTO	(カメラが自動で撮影シーンと最適な EXR モードを設定)	シーンを認識しない場合 青空、緑、青空&緑、動体、人物&動き、逆光人物&動き、インテリジェントブレ防止(連写撮影)、マクロ、逆光&人物、そして SP の (EXR AUTO) の撮影シーンと最適な EXR モードを設定
	EXR HR (高解像度優先)		(EXR 優先モードと総称)
	EXR SN (高感度低ノイズ優先)		(EXR 優先モードと総称)
	EXR DR (ダイナミック優先)		(EXR 優先モードと総称)
SP	人物 (EXR AUTO)		
	美肌		
	風景 (EXR AUTO)		
	スポーツ		
	夜景 (EXR AUTO) (EXR AUTO)		
	夜景 (三脚)		
	花火		
	夕焼け (EXR AUTO)		
	スノー (EXR AUTO)		
	ビーチ (EXR AUTO)		
	水中		
	パーティー		
	花の接写		
文字の撮影			
Adv	アドバンスフィルター		
	ぐるっとパノラマ 360°		
	ほかしコントロール		
	連写重ね撮り		
	多重露出		

(2) ズームレンズと絞り

表 2 ズーム倍率と 35mm 判換算の焦点距離、絞り値

倍率	焦点距離	35mm 換算	絞り値		
			開放絞り	中間	最小絞り
1.0	4.6	25	3.5	7.1	10
(1.05)	4.8	26	3.6	7.1	10
1.1	4.9	28	3.7	7.1	10
(1.15)	5.1	29	3.7	7.1	10
1.2	5.4	30	3.7	7.1	10
(1.25)	5.7	31	3.7	7.1	10
1.3	5.9	33	3.7	7.1	10
(1.35)	6.2	34	3.7	7.1	10
1.4	6.5	35	3.8	8	11
1.5	6.9	38	3.8	8	11
1.6	7.2	40	3.8	8	11
1.7	7.6	43	3.9	8	11
(1.75)	7.9	44	3.9	8	11
1.8	8.3	45	4.0	8	11
1.9	8.7	48	4.0	8	11
2.0	9.2	50	4.1	8	11
2.2	10.0	55	4.2	8	13
2.4	11.0	60	4.3	9	13
2.7	12.3	68	4.5	9	13
3.0	13.7	75	4.6	9	13
3.3	15.3	83	4.7	9	13
3.7	17.0	93	4.9	10	14
4.2	19.1	105	5.0	10	14
4.7	21.6	118	5.2	10	14
5.3	24.4	133	5.3	10	14
6.0	27.6	150	5.4	11	16
6.9	31.6	173	5.6	11	16
7.9	36.3	198	5.8	11	16
9.0	41.5	225	5.9	11	16
10.0	48.0	250	6.0	13	16
12.0	54.2	300	6.1	13	16
13.0	60.4	325	6.1	13	16
14.0	65.8	350	6.0	13	16
15.0	69.7	375	6.0	13	16
16.0	73.3	400	5.9	11	16
17.0	78.0	425	5.9	11	16
18.0	83.6	450	5.8	11	16
19.0	87.5	475	5.6	11	16
20.0	92.0	500	5.3	11	16

- 1.05, 1.15, 1.25, 1.35, 1.75 倍は表示されず、1.0, 1.1, 1.2, 1.3, 1.7 の表示のまま。
- 太字は「定点撮影のために覚えておくといいな」と思う倍率
- F 値が表のように 35mm 換算 300mm 辺りで F6.1 まで大きくなり、以降、下がって望遠端では仕様に記載の F5.3 になることをお教えいただきました。一般にズーム倍率が高くなるほど、F 値が大きくなると理解されていますので、この特性は覚えておく必要があります。

FinePix F900EXR はズームレバーを操作すると倍率が一瞬、表示され、ステップ的に動きます。このステップ数は 39 です。表 2 にズームレンズの停止位置で表示される倍率、その位置で撮影した Exif 情報の焦点距離、35mm 判換算の焦点距離（焦点距離×5.4348）、絞り値をまとめます。

撮影モード A で表 2 のように F900EXR は 3 段階の絞り設定が可能です。絞りは開放の状態から、まず、ND フィルター（ND4 相当）で絞られ、次に絞り穴で絞られる構造です。このため、被写界震度が深くなるのは最も絞った段階となります。

(3) シャッター速度

表 3 撮影モードとシャッター速度

撮影モード	シャッター速度
M	[[ISO 100] 8", 6.5", 5", [ISO 200] 4", 3", 2.5", [ISO 400], 2", 1.5", 1.3", [ISO 800] 1", 1/1.3, 1/1.6, [ISO 1600/3200/6400] 1/2, 1/2.5, 1/3, [ISO 12800] 1/4, 1/5, 1/6, 1/8, 1/10, 1/13, 1/15, 1/20, 1/25, 1/30, 1/40, 1/50, 1/60, 1/80, 1/100, 1/125, 1/160, 1/200, 1/250, 1/320, 1/400, 1/500, 1/640, 1/800, 1/1000, 1/1200, 1/1600, 1/2000
S	[AUTO(400)] 2", 1.5", 1.3", [AUTO(800)] 1", 1/1.3, 1/1.6, [AUTO(1600/3200)] 1/2, 1/2.5, 1/3, 1/4, 1/5, 1/6, 1/8, 1/10, 1/13, 1/15, 1/20, 1/25, 1/30, 1/40, 1/50, 1/60, 1/80, 1/100, 1/125, 1/160, 1/200, 1/250, 1/320, 1/400, 1/500, 1/640, 1/800, 1/1000, 1/1200, 1/1500, 1/1600, 1/2000
SP (花火)	4", 3", 2.5", 2", 1.5", 1.3", 1", 1/1.3, 1/1.6/ 1/2
その他	1/4~1/2000 秒の範囲で自動設定

FinePix F900EXR はメカニカルシャッター併用で撮影モードによって表 11 のシャッター速度の設定（M、S、花火以外は自動設定）が可能です。なお、自動設定される撮影モードでの最長シャッター速度が **1/4 秒**ということをお忘れ、P モードで ISO と画質の実験をし、シャ

ッター速度が 1/4 秒以下にならないため、ISO が低いほど暗い画像を撮ってしまったことがあります。**要記憶**です。

F900EXR、構図に気をとられているうちに望遠域に入り、F 値も明るいとはいえなため、シャッター速度が遅くなって手ブレ写真を産んでしまうことがあります。室内などの暗い条件では、液晶モニターに表示のシャッター速度を確認し、撮影感度の変更、身体を壁などにつけての手ブレ低減、**セルフタイマー2秒（シャッターボタンを押すのに起因する手ブレの防止）**を組合せ、また、SETUPの「撮影画像表示」で撮影直後の画像を拡大してピントの状態をすぐチェックできる「拡大」に設定して、撮影後の画像の手ブレの有無のチェックが有効です。

(4) 測光方式

表 4 測光方式

測光モード	概要
マルチ	シーン自動認識で様々な撮影状況に対して適正な露出が得られる
スポット	画面中央部の露出を最適にする
アベレージ	画面全体を平均して測光。白や黒の服を着た人や風景の撮影に適する。

F900EXR は表 4 の測光方式が設定可能です。スポット測光をデジタル一眼レフカメラの K-7 と比較すると、より広い範囲を測光しているようで、月の撮影では更に-2の露出補正して著者が狙った絵が得られるということもあります。**「スポット測光だから」と固定的に考えずに積極的に露出補正**することをお勧めします。

なお、撮影モードが AUTO、EXR AUTO、Adv、SP では測光モードのスポット、アベレージを設定できません。

(5) フィルムシミュレーション

フィルムシミュレーションモードは FinePix S100FS で初めて搭載された機能で、F900EXR では PROVIA、Velvia、ASTIA、B&W、

表5 フィルムシミュレーション

フィルムシミュレーション	特徴
PROVIA/スタンダード	スタンダードな発色と階調で、見た目どおりの自然な色再現を求める際に最適。
Velvia/ビビッド	青空をより青く、夕焼けをより赤く、また花の色をより鮮やかに表現したい時に最適。
ASTIA/ソフト	しっとりとした山岳風景や花びらの微妙な色調など、落ち着いた発色を求める際に最適。
B&W (Black&White)	階調豊かなモノクロ撮影
セピア	温かみのある、やわらかなセピア調に撮影

- PROVIA、Velvia、ASTIA の特徴の説明は FinePix S100FS より抜粋

表6 EXR の撮影モード

撮像方式	概要
EXR SN 高感度・低ノイズ優先	最高感度 ISO 3200 で、従来以上にノイズを抑えながら解像感を損なわない、クリアな高感度画像を実現。室内や夜景などの光量が足りないシーンもきれいに撮影
EXR DR ダイナミックレンジ優先	ダイナミックレンジ 1600%まで設定することができ、明暗差が大きい屋外のシーンでも、白とびや黒つぶれを抑制し、豊かな階調を実現
EXR HR 高解像度優先	有効画素数 1600 万画素をフルに活用した高解像度を実現。木々の葉や人物の髪の毛など、より微細な表現が可能

セピアの設定が可能です(表5)。なお、撮影モードが EXR AUTO、SP (高感度 2 枚撮りとナチュラルフォトを除く) ではフィルムシミュレーションの Vivid、ASTIA は設定できません。また、撮影モードが EXR-DR で PROVIA の設定ではダイナミックレンジ 1600% の設定が可能です。Velvia、ASTIA では 400% までとなります。

著者の常用は **スタンダード (PROVIA)** です。

(6) 露出補正

±2EV の範囲で露出補正できます。撮影モードが AUTO、EXR AUTO、M、SP (花火) では露出補正できません。

使用説明書で書かれた逆光の人物撮影では $+2/3 \sim 1 2/3$ EV、スキー場

などの反射が強く明るい場合や画面の大部分を空が占める場合は+1EV、暗い背景でスポットライトを浴びた場合や常緑樹や色の濃い葉などの反射率が低い場合は $-2/3$ EVを覚えておくとよいです。

(7) 連写

F900EXRには表6に示す1コマ撮影以外に5種類の連写があります。BKT撮影機能はF300EXRでAdv.の中に含まれていた撮影モードです。

表6 連写の種類

連写の種類	概要
1コマ撮影	
連写	3fps, 6fps, 11fps, 16fps
前後撮り連写	
AEブラケットイング	$\pm 1, \pm 2/3, \pm 1/3$
フィルムシミュレーションBKT	
ダイナミックレンジBKT	

3 メモリーカード、アクセサリ

(1) SDメモリーカード

[FUJIFILMのWebサイト](#)で「対応動作確認済み SDメモリーカード」としてSDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカードが示され、FUJIFILM製/SanDisk製のメモリーカードが推奨されています。加えて、「HD動画、ハイスピード動画を撮影する時は、**SDスピードクラス 10以上のメモリーカードをご使用ください。**」と記されています。

(2) 液晶保護フィルム



モニターはボディと面一のデザインです。このため、液晶面を下に向けて机の上においた場合、机の上の砂粒などで液晶面を傷つける可能性があります。そこで液晶保護フィルムに FINEPIX F820EXR / F900EXR 専用液晶保護フィルム DGF-FFF820(ハクバ)を用いています。

(3) カメラケース



FinePix F300EXR で使用していたコイルストラップ、FinePix F900EXR 用にちょうどよいサイズのピクスギアセミハードカメラポーチ (HAKUBA)、そして F300EXR で使用していて外装が傷んだ hama デジカメポーチ サムハードケース 60H のネックストラップを組み合わせて使用しています。

(4) 三脚・一脚



SPRINT PRO (SLIK)
全高 163.5cm、EV スライド 30cm、
縮長 48cm、重量 0.89kg



ULTRA STICK M50 と QHD-33
総重量 340g、(Velbon)



コンパクト三脚 DCA-O16BK (ロース)
147x40x18[mm], 73[g]

FinePix F900EXR、手ブレ補正機能とタイマー2秒の組み合わせでシャッター速度 1/4 秒でも何枚か撮影すれば、使える絵が撮れる場合が多くあり、メモ用カメラという用途もあり、三脚・一脚を F900EXR と一緒に持ち歩くことはありません（他の「しっかり撮りたい」という時に使用するカメラでは積極的に使います）。

”[Tripod Maniac](#)”で解説の F900EXR で使用できる三脚・一脚を上
に示します。

(5) ホワイトバランスのカスタム設定用板



ホワイトバランスのカスタム設定用のアクリル板、著者はコーミンさんの『[Komin's Photo Blog](#)』を参考に売られていた 300mm×300mm×厚 2mm の乳半色のアクリル板（アクリライト、三菱レイヨン(株)）を入手し、簡易定規としても使えるように 50mm×100mm の寸法にカットし、角を丸くし、持ち運び用に孔を空けたものを作りました。

使用方法はこの乳半色のアクリル板越しにレンズで光源を見て（太陽光の場合は太陽を横の位置にした感じ）、カスタムホワイト設定します。

4. まとめ

FinePix F900EXR、撮影条件によって画像周辺の画質が甘くなるのが気になる時がありますが、主用途がメモ用カメラで、35mm 判換算 500mm という強力な望遠が遠くの被写体を切り取るのに活躍してくれます。また、ズームレンズの作動音が小さいこともメモ用カメラとして使いやすいです。

2014 年 7 月に画質向上と暗い条件での撮影領域を拡大するため、FUJIFILM XQ1 を入手しました。外出の目的によって「どちらのカメラを携帯していこうか・・・」になっています。

■ Maniac シリーズ

FinePix S9000 Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXS9000maniac.html>

FinePix F31fd Maniac + F11

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXF31maniac.htm>

FinePix F100fd Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXF100maniac.html>

FinePix F200EXR Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXF200maniac.html>

FinePix F300EXR Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXF300maniac.html>

FinePix HS30EXR Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXHS30maniac.html>

FinePix HS50EXR Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/FXHS50maniac.html>

COOLPIX P5100 Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/COOLPIX-P5100maniac.html>

COOLPIX P330 Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/COOLPIX-P330maniac.html>

Conversion Lens Maniac- コンバージョンレンズの活用 -

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/conversionlens-maniac.html>

Tripod Maniac - B 級 (?) 三脚選び -

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/tripod-maniac.html>

Step-Up, -Down Rings Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/step-ud-rings-maniac.html>

TS-613 & TSN-664 Digiscoping Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/TS613digiscoping-maniac.html>

Papilio 6.5x21 Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/Papilio-maniac.html>

HYBRID W-ZERO3 Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/HYBRID-W-ZERO3-maniac.html>

LaVie Light BL350-CW Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/lavie350maniac.html>

PJ-20 Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/PJ20-maniac.html>

VT250 Spada Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/VT250spada-maniac.html>

WACHSEN BA-100 Agniriff Maniac

<http://www.minami-nagareyama.org/editor/BA100maniac.html>

『FinePix F900EXR Notes』

2014年8月12日初版

著者：市川 誠 (maktich@pa2.so-net.ne.jp)

ロボット人間の散歩道：So-net ブログ

<http://robotic-person.blog.so-net.ne.jp/search/?keyword=f900exr>